

本邦の2014年の部位別がん死亡率(国立がん研究センター)をみると、大腸癌は男性では肺癌、胃癌に次いで第3位、女性では第1位である。このような大腸癌死亡率を減らすべく多くの努力がなされている。消化器内視鏡の分野でもADR(adenoma detection rate)を向上させるべく、診断技術や機器の工夫・開発がなされている。本号では、病変の存在診断や質的診断の向上を目的として、現時点で実用化あるいは開発が進められているさまざまな診断のモダリティを集約し、それぞれの分野のエキスパートに執筆をお願いした。従来からの通常内視鏡観察における観察法の注意点やデバイスの紹介、NBI, BLI, LCIの有用性の検討、広角視野内視鏡や超拡大内視鏡の研究成績、大腸カプセル内視鏡や大腸CTの将来展望などが網羅されている。

話は変わるが、米国に比して本邦における大腸癌の死亡率は現在でも増加傾向にある。以前、米国の有名がんセンターの医師が「日本では任意型に限らず対策型の大腸がん検診も盛んに行われているようだが、米国と異なり大腸癌の死亡率が増えているのは検診のやり方に問題があるのでは……」と述べていたが、この主要原因の一つとして、本邦では1次スクリーニングである便潜血反応陽性者の精密検査受診率が非常に低いことが挙げられる。

本号で取り上げた大腸検査の各種モダリティは、店舗というなら素晴らしい商品である。しかし、客が店の中に入ってこなければそれら商品は買われることもない。これら商品を生かすには、客をいかに店の中に誘導するか工夫も必要である。このようなことも念頭に置きながら、総合的視野で本号を読んでいただければ幸甚です。

平田 一郎
(大阪中央病院消化器内科)

INTESTINE

Vol.21 No.5

©2017年9月20日発行
定価(本体2,850円+税)

●年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

・Published by Nihon Medical Center Inc.

©2017, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

編集 『INTESTINE』編集委員会

発行人 増永 和也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64(協和ビル)

営業直通電話(03)3291-3901(代)FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代)FAX(03)3291-3377

e-mail intestine@nmckk.co.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541